

インターンシップ(就業体験)の推進

インターンシップに前向きに取り組む大学等の支援を通じ、学生の学習意欲の向上や高い職業意識の向上等に意義を有するインターンシップを推進する。 ▶ 文部科学省

若年者のためのワンストップサービスセンター(ジョブカフェ)における支援の推進

若年者のためのワンストップサービスセンター(ジョブカフェ)において、地域の企業や学校などと連携し、若年者向けの情報提供、カウンセリングや職業紹介などの各種サービスを一貫して提供する。 ▶ 厚生労働省・経済産業省

若年者試行雇用の活用

学卒未就職者などの職業経験が十分ではない若年者を対象に、3か月間の試行雇用を活用し、常用雇用の実現を支援する。 ▶ 厚生労働省

常用雇用移行率 80%

★平成18年度までの目標

日本版デュアルシステムの推進

若年者向けの実践的な教育・職業能力開発の仕組みとして、企業での実習と教育・職業訓練の組合せ実施により、若者を一人前の職業人に育てる新しい職業訓練システムである「日本版デュアルシステム」を推進する。

▶ 文部科学省・厚生労働省

キャリア・コンサルタントの養成・活用の推進

個々人の職業生活の設計や、それに即した職業選択、能力開発等を支援する「キャリア・コンサルタント」を養成するとともに、その活用を推進する。

▶ 厚生労働省

約2万人(15年度) → 約5万人

★平成18年度までに達成

職場定着の促進

地域における若年労働者の相互交流や企業人事管理者の講習等の取組を促進するとともに、働くことに関わる幅広い相談に身近に応ずる体制を整備する。

▶ 厚生労働省

新規学卒就職者の就職後3年以内の離職率を毎年度対前年度比で減少

★平成18年度までの目標

【目指すべき社会の姿】

- 若者が意欲を持って就業し、経済的にも自立できるようになる(早期に若年失業者等の増加傾向を転換(フリーター約200万人、若年失業者・無業者数約100万人それぞれについて、低下を示すような状況を目指す))

注：目指すべき社会の姿は、本プランに掲げた具体的施策を中心に、関連する施策を総合的に推進することにより、実現を目指すものとして掲げた(以下同様)。

